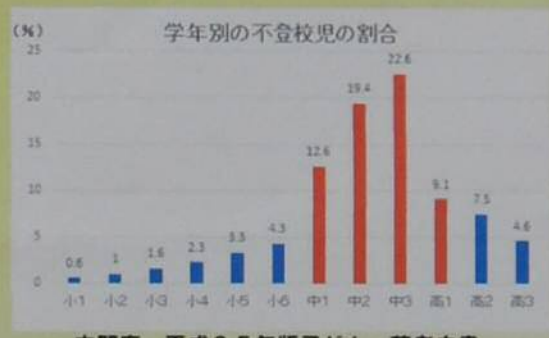


スクールカウンセラーについて

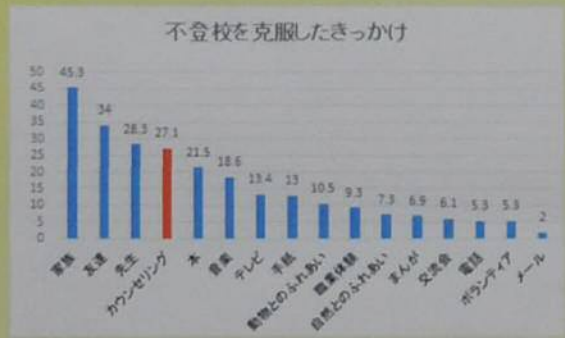


文部科学省 教育相談等に関する調査研究協力者会議



内閣府 平成25年版子ども・若者白書

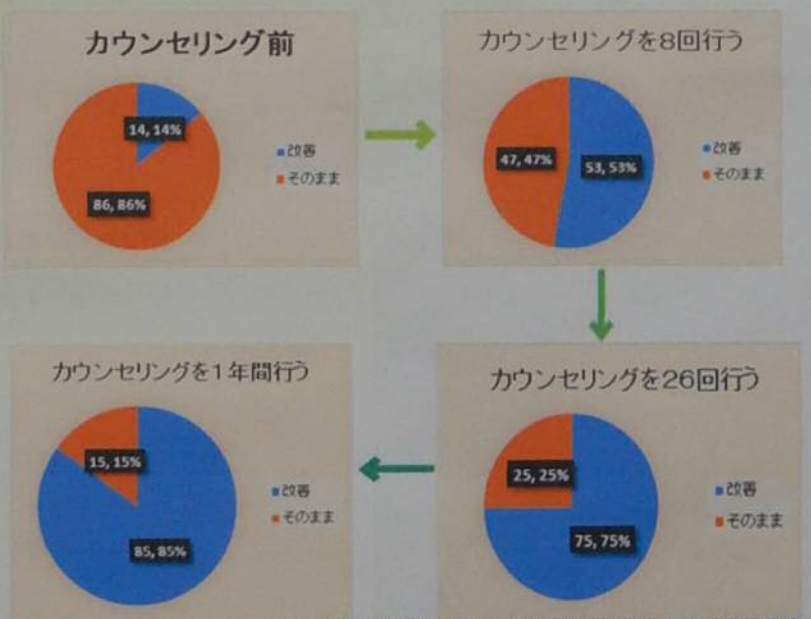
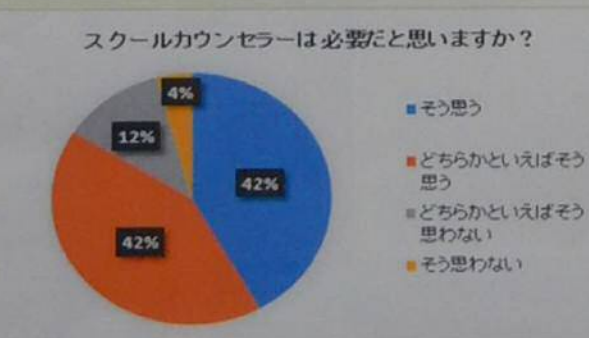
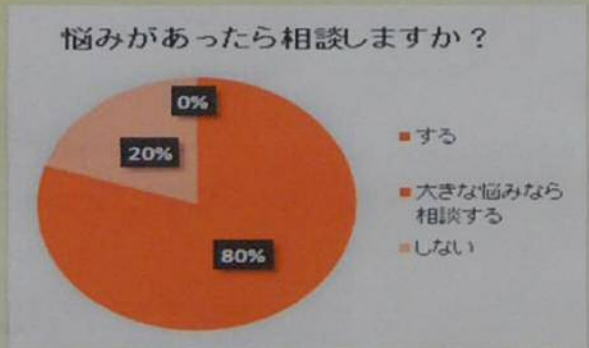
スクールカウンセラーを配置する学校は年々増えてきているということが、このグラフから読み取れます。学校での人間関係の問題、強いストレス、様々な悩みが増えてきているため、学校は相談ができる環境を整えようとしているのだと思います。しかし、実際には悩みが解決しない人は多く、グラフの通り不登校児も減っていません。今のところ、スクールカウンセラーはあまり役に立っていないということです。



しかし、その中でもカウンセリングを受けて不登校を克服した人がいます。右のグラフではカウンセリングが4番目に数値が高くなっています。上位3つも家族、友達、先生ということで、いかに相談相談相手がいるということが大切なことがわかってきます。

カウンセリングは本当に効果があるということは、証明されています。時間を作りゆっくりと話を重ねていけば、必ず悩みや問題は解決します！

『面白くてよくわかる！臨床心理学』 福島哲夫



『心の専門家になる！臨床心理のはなし』 山本和郎

「今、悩んでいたり、つらい思いをしているとしたら…」という設定でクラスメイトにアンケートを取りました。私の予想通りスクールカウンセラーに相談したいと思う人は、いませんでした。でも、スクールカウンセラーのことは必要だと思ってくれる人は多くいました。もっと、スクールカウンセラーの親しくできる環境を作っていけば、この問題は克服できると思います。

カウンセラーの親しくできる環境を作っていけば、

まとめ

私の将来の夢はスクールカウンセラーになることです。この取り組みでスクールカウンセラーの現状を知ることができました。将来、もしスクールカウンセラーになれたとしたら、この状況を少しでもよくして、スクールカウンセラーと親しくなれる環境をつくりたいと思います。